

《 執筆規程 》

1. 論文の構成

- 1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。用語は本文に用いた言語とし、キーワードを含むように配慮する。原則として略語・略称は用いない。なお、30字以内のランニングタイトル（簡略標題。標題を短くしたもので、標題よりもさらに主題に絞り込んだもの。標題が30字以内であれば同じでもよい。）を記載する。
- 2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最少限に記載する。なお、著者資格については統一規定（註1）を参照すること。著者名のローマ字表記は、姓に続けて名の頭文字のみを記載する。
- 3) 要旨：和文、英文とも「目的」、「方法」、「結果」、「結論」について項を分けて簡潔に記載する。
- 4) キーワード：標題および要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。国際的に広く通用する言語又は日本語で表示する。
- 5) 本文：
 - ①はじめに（序論、緒言）
研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述する。
 - ②対象および方法
用いた研究方法について第3者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。
 - ③結果（成績）
研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す。
 - ④考察（分析）
結果の分析・評価、今後の課題、などを記述する。
 - ⑤結論
研究で得られた結論を200～300字で簡潔に記述する。
 - ⑥謝辞
著者資格には該当しない研究への貢献者、および助成金受給については謝辞に記載する。
- 6) 文献：引用文献のみとする。

2. 投稿原稿の構成

表紙頁、著者頁、和文要旨（著者名、所属は不要）、英文要旨（著者名、所属は不要）、本文、文献、図表、図表の説明文、補遺（Appendix）で構成する。

3. 原稿の規程分量

研究論文、症例研究は、要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり8頁（400字詰め原稿用紙40枚・16,000字相当）。短報は要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり4頁（400字詰め原稿用紙24枚・9,600字相当）。その他は要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり6頁（400字詰め原稿用紙32枚・12,800字相当）。図表は、刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字詰め原稿用紙1枚として換算すること。

4. 要旨

論文には和文の要旨（400字程度）をつける。また、研究論文、症例研究および短報には250語程度の英文要旨をつけること。

5. 表紙頁および著者頁

論文には表紙頁および著者頁をつける。表紙には、標題、ランニングタイトル、希望する記事の種類、英文標題、キーワード（3個）、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数（図表含む）を記載する。著者頁には、著者名と職位、所属名、英文の著者名と所属名、責任著者連絡先（Emailアドレス含む）を記載する。投稿原稿の書式の詳細は本会ホームページを参照すること。

6. 図表

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、許可書を提出すること。図表の説明（キャプション）は図表の後に頁をあらたにして記載すること。

スライド図・表は投稿用に作成し直す。

7. 文献

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，西暦年号，巻，頁（最初－最終）の順に書き，単行本の場合は著者氏名，書名，編集者名，発行所名，発行地，西暦年号，頁を記載する。文献名の省略は米国国立医学図書館（註2）の方法に従うこと。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を記載する。

[例]

- 1) 宮本謙三，竹林秀晃，他：加齢による敏捷性機能の変化過程—Ten Step Testを用いて—。理学療法学。2008; 35: 35-41.
- 2) Tompkins J, Bosch PR, *et al.*: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. *Phys Ther.* 2008; 88: 928-935.
- 3) 信原克哉：肩—その機能と臨床—（第3版）。医学書院，東京，2001，pp. 156-168.
- 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97-112.
- 5) 名郷直樹：EBMの現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際。内山 靖（編），医歯薬出版，東京，2008，pp. 18-38.
- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成23年度版。http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html（2011年12月19日引用）
- 7) Abood S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. *Am J Nurs.* 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102(6): [about 1 p.]. Available from: http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htmArticle
- 8) Zhang M, Holman CD, *et al.*: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions in older adults: retrospective cohort study. *BMJ.* 2009 Jan 7;338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752. PubMed PMID: 19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
- 9) Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated 2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from: http://www.cancer-pain.org/.
- 10) American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug 23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of Group Practice Liaison; [about 2 screens]. Available from: http://www.ama-assn.org/ama/pub/category/1736.html

8. 数量の単位

単位は原則として国際単位系（SI単位）を用いる。長さ：m，質量：kg，時間：s，温度：℃，周波数：Hz等。

9. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

10. 機器名の記載法

機器名は、「一般名（会社名，製品名）」で表記する。なお，統計ソフトは「製品名，バージョン番号」とする。

11. 英文要旨について

英文要旨は，原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受けること。

12. チェック表

投稿に当たっては，本会ホームページ掲載のチェック表で確認し，チェック表を同封すること。

13. その他

- 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
- 2) 図は白色紙に記載し，線画の太さを1 mm以下の線とする。写真は原寸印刷が可能のように，横は，8 cmまたは16 cmのいずれか，縦は9 cm以下の大きさとする。
- 3) 表・図（写真を含む）の挿入位置は本文の右欄外に指示する。
- 4) 原稿には，表紙を含めページ数を必ず記入する。

（平成24年2月11日 改定）

註1：国際医学雑誌編集者委員会：生物医学雑誌への投稿のための統一規定 http://www.icmje.org/urm_main.html

註2：文献の引用例7)～8)は英文電子ジャーナル，9)，10)は英文ホームページの引用例である。詳しくは以下の米国国立医学図書館ホームページを参照すること。http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html